

2008年7月1日発行

エコ・リサ通信

第63号

NPO法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会会報
発行人 高木 康夫

08.05.17 エコ・リサ総会記念講演 報告

産廃ごみ山による 環境汚染の実態と問題

埼玉西部・土と水と空気を守る会
河登一郎さん（エコ・リサ会員）



特に鉛は、当会が採取した土壌 92 検体のうち 4~5割が土壌汚染対策法の基準値を超えていました。

その他の公害：崩落・火災・悪臭やハエの大量発生など現実に起こっています。

1. 実態はこうなっています

埼玉県内の 3,000 m³を超える産廃ごみ山は、当会調査範囲で約 150 ヶ所あります。

3,000m³ 未満のごみ山、廃棄物を埋めた穴、谷間への不法投棄を含めると無数。実態調査による正確な事実の把握が必要です。

2. ごみ山による環境汚染と被害

産業廃棄物ですから、重金属類や化学物質など多くの有害物質が含まれています。鉛・カドミウム・PCB・水銀・6 価クロム・硫化水素・砒素・アスベストなど。

地価の下落：土壌汚染対策法に基づく対策が必要な汚染地で、事業者が倒産・行方不明の場合など、地権者にも責任が及び、地価は周辺地も含めて下落します。地主の自己負担でごみ山撤去した例もあり、経済的被害は大きいです。

3. ごみ山は何故できるのか

埼玉県は首都圏からの交通の便が良く、比較的平地林が多い：実態把握・監視体制・行政指導が極めて不十分です。詳しくは下記 5. 参照。



法令上の不備：実態上は中間処理（破碎・圧縮など）でも、①自社処分、②有価物と説明すれば本来必要な許認可対象から外れ、事実上の無法状態になります。

受入側の経済的要因：①森林の経済価値（材木・薪・炭など）の低下、②休耕田、③固定資産税や相続税負担などのため、「資材置き場」「農地改良のための盛土」になりやすい背景があります。

4. 当会の活動

詳細はホームページをご参照下さい：
<http://www3.airnet.ne.jp/dioxin/>

前身は「公害調停をすすめる会」：1998～2003年にわたって所沢周辺の産廃焼却炉を止める目的で公害調停を実行しました。

多様な運動の成果として焼却炉は激減しましたが（64炉→6炉）、焼却以外の中間処理（特に破碎と圧縮）は激増し、違法認可・違法操業・不法投棄が目立つため、実態監視・調査・分析・行政への報告・政策提言・訴訟（訴訟支援）・情報発信など行っています。



これが有価物？ 狭山市(2007)

5. 埼玉県の対応

法的には多様な手段と権限が県には認められています：立入検査・行政指導・改善命令・措置命令・代執行；最も有力な権限は「許認可権」です。

実態は、①緩やかな口頭指導など実効に欠けるケースが多く概して甘い、②限られたスタッフで全県に広がる産廃施設を監視し、ごみ山の実態を正確に把握することは不可能に近い。

地方分権・許認可権限の市町村への委譲をもっと積極的に進め、市町村も前向きに検討すべきです。

撤去など対策費は巨額で誰が負担すべきかも大きい問題です：多くの場合、直接の責任者たる事業者は行方不明・破産などで負担能力がなく、排出事業者や地権者にも負担責

任はありますが、現実問題として行政が負担する場面が多く、事業者が＜捨て得＞し納税者が負担する不公正な結果になります。但し、行政にも汚染を招いた責任の一端はあります。



草木が生えて山？に。手前の田んぼへの影響が心配。熊谷市中条(2006年6月)

が見られ、年間4～5件程度のペースで対策を講じ始めています。対策の内容は、一部撤去・覆土・崩落防止・通気管（土壤中のガスを排出！）・植生などです。それでも一歩前進と考えるか、中途半端な対策では意味がないと考えるか…完全な対策でないことは明らかですが、事前防止に比べて事後対策は経費面でも実行面でも格段に困難を伴うため、早い段階で防止することが重要です。県民の協力が有効です。

三芳町の長島総業のごみ山対策費用の分担は以下のとおりでした。

撤去量7千トン＝ごみ総量65千トンの11%だけで費用総額（百万円）127；分担は埼玉県（県民）50；けやき基金27；三芳町25；地主25。本来負担すべき事業者・排出業者には請求できないので負担はゼロ。事後対策の限界です。

6. 今後の課題：諸悪の根源は

ごみが多すぎること

最大の課題は発生抑制で、特に拡大生産者責任（EPR）が重要です。「容り法」以外の「リサイクル諸法」や「循環型社会基本法」の抜本的な改訂を含むすべての廃棄物対策としてEPRをベースとした「ごみを減らす仕組み」づくりを国民運動として推進するこ

とが不可欠です。

ごみ山の事前対策としては、①産廃物の県内流入規制：総量規制；流入税など、②基準違反・違法操業・不法投棄・違法許認可の監視、③汚染の実態調査も有効です。

市民・市民団体と行政；議会；市民団体同士の建設的な関係へ：

(1) 市民（団体）と行政：＜癒着か非難＞ではなく＜緊張感のある協働＞へ

(2) 市民（団体）と議会：＜行政のチェック機能充実のために市民の知見を活用する効果は大きい＞

(3) 市民（団体）同士の協力：＜違いを引き算＞ではなく＜共通点を足し算＞へ。



ごみ山はグーグルアースで発見。川越市下松原

08年度エコ・リサ総会報告

今年度の総会では、NPO法人として活発な活動を行なうために、経済的な運営の重要性を確認しました。

また、質疑応答の中では、毎月行なっている運営委員会への参加方法に関する質問があり、会員はオブザーバー参加大歓迎であること、運営委員会は基本的に毎月第3木曜日



来賓：埼玉県資源循環推進課 土屋副課長

に、奇数月は午後1時からソニック1FのさいたまJCルームで、偶数月は午後5時30分から桜木町公民館シーノにて開催

しており、日程・場所などの詳細は事務局にご連絡いただく事をお願いしました。

特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会 第4期通常社員総会議事録



- 日時 平成20年5月17日（土）
午後1時30分から午後3時00分
- 場所 さいたま市大宮区桜木町1-7-5大宮ソニックシティビル806
- 社員総数 122名
- 出席社員数 83名（内訳 本人出席 27名 書面表決者 56名）
- 議題

第1号議案

2007年度（2007年4月1日から2008年3月31日まで）事業報告承認の件

第2号議案 2007年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件

第3号議案 2008年度役員選任の件

第4号議案

2008年度（2008年4月1日から2009年3月31日まで）事業計画承認の件

第5号議案 2008年度収支予算承認の件

6 議事の経過及び結果

(1) 理事園田真見子氏が本日の社員総会は定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。

(2) 理事園田真見子氏から議長の立候補を求めましたが立候補者が無かったので、会長より大前万寿美氏を指名、議長の選任につき諮ったところ、満場一致をもって理事の大前万寿美氏を議長に選任した。

(3) 議事録署名人選任の件

議事録署名人につき立候補を求めましたが立候補者が無かったので、議長から本日出席の土淵昭氏及び清水守氏を指名し諮ったところ、満場一致をもって同意がなされた。

(4) 第1号議案

2007年度(2007年4月1日から2008年3月31日まで) 事業報告承認の件

議長は上記議案を上程し、2007年度の事業の内容につき概要を専務理事宮田尚美氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

(5) 第2号議案

2007年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件

議長は上記議案を上程し、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の内容につき概要を一部訂正後、理事高橋茂仁氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案を承認可決した。

(6) 第3号議案

2008年度役員選任の件

議長は上記議案を上程し、理事及び監事の全員が平成20年5月31日をもって任期が満了するので、理事2名より辞任届を受理した説明の後、改めて残りの理事10名及び監事2名の選任を継続したい旨、又、新任理事1名を指名したい旨を述べ、原案の下記理事11名及び監事2名の候補者につき議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決し、選任された理事及び監事は、その場で、就任を承諾した。

記

理事	石川 恵 輪 (再任)	理事	大前 万寿美 (再任)
理事	齊藤 勉 (新任)	理事	神山 憲 秀 (再任)
理事	清水 守 (再任)	理事	園田 真見子 (再任)
理事	高木 康 夫 (再任)	理事	高橋 茂 仁 (再任)
理事	土淵 昭 (再任)	理事	原田 史 (再任)
理事	宮田 尚 美 (再任)	監事	島田 憲 一 (再任)
		監事	平田 繁 (再任)

(7) 第4号議案

2008年度(2008年4月1日から2009年3月31日まで) 事業計画承認の件

議長は上記議案を上程し、2008年度事業計画の概要を専務理事宮田尚美氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。

(8) 第5号議案

2008年度収支予算承認の件

議長は上記議案を上程し、2008年度収支予算の概要を理事高橋茂仁氏が説明して議決を求めたところ、全員異議無く原案を訂正し承認可決した。

カーボンマイナス 県民フォーラム

6・12 埼玉会館にて
エコ・リサはブース出展を



洞爺湖サミットを目前に控え、地球温暖化への関心の高さからか、知事や県議会からの出席も多く、大勢の市民で賑わいました。

エコ・リサの展示ブースでは、着ぐるみの“あっつい地球君”と“マイバッグちゃん”が、「先週、あなたは、ペットボトルを自販機で何本買いましたか？」と来場者に質問しました。

「0本」という方は、42%。内、3名の方が「洗って使い回しをしていますよ。」とさすが大雨の中ご参加の心強い言葉。

「1～3本」と答えた方は、33%、「どうしても出先で買ってしまおうんですね。」

また、「4本以上」という方が25%もあり、「ペットボトルはリサイクルしてもペットボトルに再生されているものはわずかなので、災害に備える意味でも飲料水を携帯する事を心がけていきましょうね。」とエコのお勧めをしました。

エコ派も未体験エコ派からも、「自販機があまりに多いですね。」と言うご意見がありました。

(報告者 大前 万寿美)

着ぐるみの“あっつい地球君”とおなじみ“マイバッグちゃん”は、有料で講師派遣いたします。ぜひ、環境フェアなどのイベントにもご活用ください。

エコ・リサHP協賛の東京ガスさんのブースでは、マイホーム発電の「エコウィル」の模型が！

従来の電気は、発電所と需要地が遠く離れているため、エネルギーの利用率は37%程度。発電時に発生する熱を有効に利用することができず、エネルギーを捨てています。

「エコウィル」自宅で発電する時の排熱を給湯や暖房に利用でき、エネルギー利用率は77%を実現。

家庭での電気やお湯の使い方に合わせて、お得になる時間を“自分で考えて”発電運転をする「学習機能」がついており、約21%の省エネ、CO2を約32%削減できるそうです。



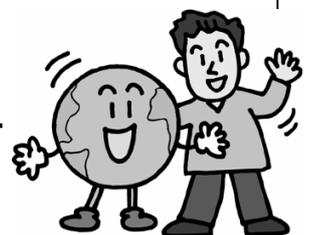
第15回 エコ・リサ研修見学会のお知らせ

8月22日(金) 集合時間: 8時45分 大宮駅西口 シーノ大宮駐車場前

見学先: ①資源リサイクル 水海道産業(株)

②宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター

参加募集人数25名 (申し込みは同封チラシ参照)



各地の環境活動紹介

6月の環境月間を中心に各地で環境フェアが開催されました。



第4回環境フェア・久喜 08.05.18

ふるさと農園久喜・緑風館で開催された環境フェアは、青葉小・青毛小・久喜中の3グループから児童生徒による環境保全に関する取組み発表があり、25名程度の小学生、3名の中学生、教師25名程度、父兄の参加を含め、発表の会場内は70名以上の市民が集まり、リユースや温暖化についての発表に耳を傾けた。

続いて、食と環境の講演『原子力発電の使用済核燃料再処理工場から出る放射能の影響』では、エコ・リサ会員であるエコ・ポワンの大前が、「火力発電所からはCO₂のごみが、原子力発電所からは放射能のごみが出る！ 栄養だと思って私たちは食物を食べるのに、もれなく放射能がくっついてくる危険性をきちんと知ることが大切。危険な放射能のごみは埋め立てる場所にも困るので、私たちひとり一人が節電所になって、発電所の数を減らしていきましょう。」と話をした。子供たちも、原子力発電所が、人間が大勢暮らしている地域には建ててはいけない法律があることや、1%のプルトニウムをリサイクルするために、高放射性廃棄物がさらに増えてしまう事を知り、今以上に節電に努力することが必要だと理解したようだった。

環境フェアの主催は、環境フェア・久喜 実行委員会で、しゃぼん玉の会が共催し、協力団体として、婦人会・くらしの会・生活クラブ生協・食事サービス「わかば」が参加、県下水道公社・久喜宮代衛生組合も出展し、第1会場の学習会と平行して、第2会場で石けんやEMの取組み、分別クイズなど、市民にアピールしていた。

第8回蓮田市環境フェア 08.05.25

環境を大切にする市内10団体で組織する蓮田環境問題連絡会主催で、市役所の中庭と駐車場を使用して環境フェアが開催され、各団体や地元企業の積水化学工業(株)や東光電気(株)を始めとする9社の環境取組みなどのパネル展示や省エネ・リサイクルの実演と工作、市内各農業団体の野菜販売、米消費拡大協議会のカレーやおにぎり、フリーマーケットに加え、蓮田ウィンドオーケストラの演奏や蓮田高校演劇部による環境劇など、多彩な催し物が行なわれた。

各団体1問ずつ環境クイズを作成し、展示の中から解答を見つけてもらうクイズラリーを行なっている。エコ・ポワンでは、クイズラリーの設問を「青森県六ヶ所村の核燃料再処理工場では、1年間に800トンの放射性廃棄物から何トンのプルトニウムを取り出す予定でしょうか？」とし、約300名の方がクイズに挑戦した。

今年初参加の白岡もったいない会では、地球温暖化を考えるきっかけになるよう、結婚式場で使用されたろうそくをリサイクルした、夏至(今年は6/22)のキャンドルナイト用手作りろうそくを配布し好評だった。



第2回中川探検ウォーク in 幸手

平成20年5月24日(日) 主催: さって市民環境ネット(代表本田 宏)
今回で2回目となる、中川探検! 幸手市環境課のサポートを受け、市民35名が参加しました。

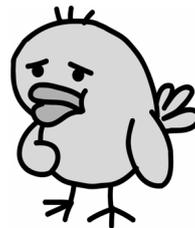
中川は埼玉県と茨城県の一部を流れ東京湾に注ぐ河川。利根川水系の支流であり、上流を島川、中流を庄内古川ともいいます。コースは幸手東公民館から車に分乗し、高平橋の先のポイントから川向うの屋敷林を観察→天神橋より徒歩にて玉子橋を折り返しメインのクヌギ林へ向かいました。約1時間30分程度の散策と自然観察です。



↑みごとな屋敷林は数えるほどに!



ワクワクしながら素敵なクヌギ林(上)のトンネルに入るとそこには不法投棄のごみ(下)が散乱していました。(> <)



野鳥の先生として埼玉県生態系保護協会(久喜支部)の青柳 進さん、樹木の先生としてNPO法人とよあしはら 事務局長の山本裕隆さんを講師に迎え一緒に観察をしました。



自然を壊す事は簡単で、守る事の大変さを実感した探検でした。報告 宮田尚美

ホームページ協賛 <2008年4月～2009年3月>

TOKYO GAS

<http://www.tokyo-gas.co.jp/area/saitama/>

ゴトグループ

<http://www.510goto.co.jp/index.htm>

㈱ショーモン

<http://www.shomon.co.jp/>

産廃上手 <http://www.ntt-me.co.jp/sanpai-jaws/>

(株)読売旅行春日部営業所

<http://kasukabe.yomiuri-ryokou.co.jp/cat472657/index.html>

ウエス屋 <http://www.uesuya.com/>

税理士法人 T&M ソリューション

<http://www.consultant.co.jp/>

パレットモール HOP100 彩 <http://www.hop100.com/>

タウンナビ埼玉 <http://www.townnavi.info/saitama/>

彩の国リサイクルデータバンク

<http://www.fuyo-hin.com/>

(社)日本青年会議所 関東地区埼玉ブロック協議会

<http://necco.info/>

順不同 ご支援ありがとうございます。

賛助会員のご紹介

(株)谷澤商会 吉見商事(株)

森田光一さん 浜野 豊さん

㈱小島鉄工所 竹並万吉さん

(株)清水金物 (株)大任工務店

㈱瀬山通 (株)さしま通商

コーエー・エコビジネス(株)

石倉労務管理事務所

アルク設計事務所 (株)高読

(有)山栄エクステリア

ヒラタホーム(株)

(有)くらづくり本舗

㈱栄精機製作所

幸手タクシー(有)

㈱アイビックス

ケイ・アール・ベンチャー(株)

㈱猪木製作所

(有)国済自動車钣金工業所

…順不同…2008年5月末現在

エコ・リサ 入会のご案内

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

会費(年間) 個人会員 3,000円

団体会員 5,000円

賛助会員 10,000円 (1口)

協賛バナー登録 50,000円 (年間)



活動活性化のため、エコ・リサでは、常時会員募集を行っています。

また、今年度会費を未納の方はお振込みをよろしく願いいたします。

* 振込み先・会費納入の際のご注意

郵便振替口座番号 00110-7-764571

加入者名 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会

埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 5392559

名義 特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会

郵便振替で入金される方は、お手数ですが通信欄に新規会員あるいは〇〇会員□□年度分と明記の上、お振り込みをお願いいたします。(事務局) 8

事務所のご案内

〒330-0846

さいたま市大宮区大門町3-205新井ビル303号

(事務員は常駐しておりません、お問合せはFAX・メールでお願いします。)

FAX 048-642-6163 mail: ecorisa-npo@fuyo-hin.com

編集後記

先日、居酒屋でエコ・リサ会員4人全員がマイ箸持参という快挙？を達成。ぜひ、皆様もホームページの“リボンで箸袋”の作り方をご覧ください。

エコ・リサでは、環境取組みに熱心な企業や市民団体の方々の活動を通信にてどんどんご紹介していきたいと思えます。今回は、東京ガスさんのエコウィルや埼玉東部方面の記事を掲載しましたが、ぜひ、各地域でのイベントなどの記事を寄稿してください。楽しみにお待ちしております。(大前)